

各 位

会 社 名 桂 川 電 機 株 式 会 社
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 渡 邊 正 禮
 (J A S D A Q コード番号 : 6416)
 問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 業 務 管 理 本 部 長 太 田 讓 二
 電 話 03-3758-0181

(訂正)「資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ」
 の一部訂正に関するお知らせ

平成24年5月18日付公表の「資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ」につきまして記載内容の一部に誤りがありましたので下記のとおり訂正いたします。
 なお、訂正箇所につきましては下線を記しております。

記

訂正箇所

(訂正前)

1. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、本日公表いたしました平成24年3月期決算短信に記載のとおり、繰越利益剰余金の欠損を計上するに至り、この繰越欠損を填補するとともに、今後の資本政策の柔軟性と機動性を確保するため、資本準備金及び利益剰余金の額の減少を行ったうえで、剰余金の処分を行うことといたしました。

2. 資本準備金及び利益準備金の額の減少及び減額の方法

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の一部及び利益準備金の全額を減少させ、その他利益剰余金及び繰越利益剰余金に振り替えるものであります。

(1) 減少する資本準備金の額及び利益準備金の額

資本準備金 4,759,500,000 円のうち、2,599,500,000 円
 利益準備金 312,000,000 円のうち、312,000,000 円

(2) 増加する繰越利益剰余金の額

その他利益剰余金 2,599,500,000 円
繰越利益剰余金 312,000,000 円

3. 剰余金の処分の要領

上記の資本準備金及び利益準備金をその他資本剰余金及び繰越利益剰余金への振替の結果、繰越利益剰余金は、1,388,323,004 円の欠損となりますので、会社法第452条の規定に基づき、別途積立金の全額を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損を填補するものであります。

(1) 減少する剰余金の額

別途積立金 1,450,000,000 円

(2) 増加する剰余金の額

繰越利益剰余金 1,450,000,000 円

(3) 増減後の剰余金の残高

別途積立金 0 円
繰越利益剰余金 61,676,996 円

(訂正後)

1. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、本日公表いたしました平成24年3月期決算短信に記載のとおり、繰越利益剰余金の欠損を計上するに至り、この繰越欠損を填補するとともに、今後の資本政策の柔軟性と機動性を確保するため、資本準備金及び利益準備金の額の減少を行ったうえで、剰余金の処分を行うことといたしました。

2. 資本準備金及び利益準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の一部及び利益準備金の全額を減少させ、その他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振り替えるものであります。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金	4,759,500,000 円のうち、	<u>2,512,818,284 円</u>
利益準備金	312,000,000 円のうち、	<u>312,000,000 円</u>

(2) 増加するその他資本剰余金及び繰越利益剰余金の額

その他資本剰余金	<u>2,512,818,284 円</u>
繰越利益剰余金	<u>312,000,000 円</u>

3. 剰余金の処分の要領

上記の資本準備金及び利益準備金をその他資本剰余金及び繰越利益剰余金への振り替えの結果、繰越利益剰余金は、3,987,823,004 円の欠損となりますので、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金、建物圧縮記帳積立金及び別途積立金の全額を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損を填補するものであります。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	<u>2,512,818,284 円</u>
建物圧縮記帳積立金	<u>25,004,720 円</u>
別途積立金	<u>1,450,000,000 円</u>

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金	<u>3,987,823,004 円</u>
---------	------------------------

(3) 増減後の剰余金の項目及びその残高

建物圧縮記帳積立金	<u>0 円</u>
別途積立金	<u>0 円</u>
繰越利益剰余金	<u>0 円</u>

以 上